St. Luke's International University Repository

Bulletin of St. Luke’s International University Submission Guidelines

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2023-03-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10285/00016714

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.

聖路加国際大学紀要投稿要項

1．論文の種類

①原著：独創的な研究により，新しい知見，理論を示した研究論文　（査読あり）

②研究報告：原著には及ばないが，意義ある研究成果を示した研究論文　（査読あり）

③総説：ある主題に関連した研究の総括，理論の構築を示したもの　（査読あり）

④短報：実践報告，研修報告　（査読なし）

※短報以外の論文は，紀要委員会が適当な第三者にその査読・審査を依頼する。

2．著者となれる人（所属等について，詳細は別表を参照）

①本法人の教職員，研究員

②本学大学院の学生，修了生，研究生

※修了生については，修了後３年以内で，本学在学中に実施した研究に限る。

③その他紀要委員会委員長が適切と認めた者

※③に該当する者は，筆頭著者および責任著者（Corresponding author）にはなれない。

3．倫理的配慮

人および動物が対象である研究は，倫理審査の過程を経た旨を本文中に明記する。

4．論文の言語

日本語あるいは英語

5．論文は他の出版物に未投稿，あるいは未発表のものに限る。

6．一度に投稿できる論文の数は，単著および筆頭著者については２編までとし，それ以外の著者になる場合（共著者）については数に制限を設けない。

7．掲載論文の著作権は，聖路加国際大学に属する。またその電子化と公開についても了承したものとする。なお，紀要に掲載された論文をその論文の著者が引用以外の形で公開したい場合（電子媒体で全文を自身のサイトに公開するなど）には，聖路加国際大学紀要委員会著作権細則に則り，その旨紀要委員会に届け出たうえで公開すること。

論文　執筆・投稿要領

1．原稿の構成と表記

1）原稿は本紀要の投稿フォーマット最新版を用いて作成する。原稿の長さは原稿全体の刷り上がり頁を以下の範囲内とする。これを超えるものについては受領しない。

①原著・研究報告・総説　　10頁以内

②短報　　６頁以内

2）論題が40文字を超える場合，ランニングヘッドを40文字以内で記載する。

3）英文論題は投稿前にネイティブチェックを受け，Capitalization Rulesに準拠する。

4）著者名に資格，学位，職位は記載しない。

5）所属が同じ場合は一つにまとめる。所属名の記載は法人組織図に準じる。

6）400字程度の和文要旨とキーワーズ３～５語，250 words程度の英文要旨とkeywords ３～５語を記す。

7）英文原稿，英文要旨は，投稿前に必ずネイティブチェックを受けること。

8）図表の使用は必要最小限にとどめる。「図１」「表１」「写真１」等の通し番号とタイトルをつけ，本文とは別に文献の後に一括し，それぞれの挿入希望場所を指定する。いずれも白黒印刷で明確に判別できるものとする。写真の解像度は300～350dpi程度とする。

9）図表および写真の情報量，サイズ等に十分留意すること。多くの情報を詰めすぎた，あるいは鮮明度に欠ける図表および写真を用いた原稿は，受理しない。なお，適否の判断は紀要委員会が行う。

10）外国の人名，地名に原語を用いるほかは，叙述中の外国語には訳語をつける。

11）注は脚注とし，必要最小限にとどめる。

2．文献記載の様式

1）引用文献は，本文の引用箇所の肩に[1) 1,3) 5,7-9)]の形で表し，最後に一括して引用順に掲げる。本文中で同一文献を二度以上引用する場合は，既出の番号を用いる（同上，前掲などは使用しない）。

2）引用文献の記載方法

各項目の区切り記号は半角を用いる。また，著者が3人以上の場合は4人目以降の著者を「ほか」「, et al.」で略す。最終ページ数は開始ページ数と重複しない数字のみを記す。以下に代表的な情報源ごとの例を挙げる（␣は半角スペースを示す）。これ以外のケースは，米国国立医学図書館(NLM)による「Citing Medicine, 2nd edition」(https://www.ncbi.nlm.nih.gov/books/NBK7256/）を参照する。

①【雑誌】著者.␣論題.␣誌名（英文誌名はPubMed省略誌名）.␣出版年;巻(号):通巻開始ページ-最終ページ.

福井次矢, 嶋田元, 脇田紀子ほか. 診療の質測定と改善: 医療の質改善: 一病院の経験. 日本内科学会雑誌. 2012;101(12):3432-9.

Fukui T, Rahman M, Ohde S, et al. Reassessing the Ecology of Medical Care in Japan. J Community Health. 2017;42(5):935-41.

②【書籍全体】編著者␣(訳者名).␣書名:␣副書名.␣版表示.␣(シリーズ名;␣シリーズ番号).␣出版地:␣出版社;␣出版年.

※版の初版（第一版）は記載しない。

※出版社の「株式会社」「社団法人」等，法人種類は省略する。

菱沼典子. 看護形態機能学: 生活行動からみるからだ. 第4版. 東京: 日本看護協会出版会; 2017.

Huff D. How to lie with statistics. 2nd ed. London: Penguin; 1991.

開原成允, 井部俊子編. 在宅医療と人材養成・人材確保.（佐藤智編. 明日の在宅医療; 第6巻）. 東京: 中央法規出版; 2008.

Benner P.（井部俊子ほか訳）. ベナー看護論: 初心者から達人へ. 新訂版. 東京: 医学書院; 2005.

③【書籍の一部】著者名.␣表題.␣In:␣編者名.␣書名.␣版表示.␣(シリーズ名;シリーズ番号).␣出版地:␣出版社;␣出版年.␣p.␣開始ページ-最終ページ.

※In:␣は，和書では省略する。

Rojko JL, Hardy WD Jr. Feline leukemia virus and other retroviruses. In: Sherding RG, editor. The cat: diseases and clinical management. New York: Churchill Livingstone; 1989. p. 229-332.

Tomey AM（菱沼典子訳）. 第32章 エヴリン・アダム：看護のための概念モデル. Tomey AM, Alligood MR編著（都留伸子監訳）. 看護理論家とその業績. 第3版. 東京: 医学書院; 2004. p. 618-31.

④【電子媒体】[cited YYYY-MM-DD]の部分は，日本語文献では[参照YYYY-MM-DD]とする。

④-1.【電子ジャーナル】著者名.␣論題.␣雑誌名.␣年;巻(号):開始ページ-終了ページ.␣[Internet]␣URL␣[cited␣YYYY-MM-DD]

Polgreen PM, Diekema DJ, Vandeberg J, et al. Risk factors for groin wound infection after femoral artery catheterization: a case-control study. Infect Control Hosp Epidemiol. 2006;27(1):34-7. [Internet] http://www.journals.uchicago.edu/ICHE/journal/issues/v27n1/2004069/2004069.web.pdf [cited 2010-12-25]

④-2.【電子ブック】編著者␣(訳者名).␣書名:␣副書名.␣版表示.␣(シリーズ名;␣シリーズ番号).␣出版地:␣出版社;␣出版年.␣[Internet]␣URL␣[cited␣YYYY-MM-DD]

聖路加国際病院QI委員会編.「医療の質」を測り改善する: Quality Indicator 2014: 聖路加国際病院の先端的試み. 東京: インターメディカ; 2014. [Internet] https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/BookDetail/Id/3000017907;jsessionid=4F08B22ACE73A8C6DA6D8EB8D60D0EDF?0 [cited 2016-12-25]

④-3.【Webサイト】サイト名␣[Internet].␣URL␣[cited␣YYYY-MM-DD]

聖路加同窓会 [Internet]. http://www.slcndouso.com/ [参照 2018-06-06]

④-4.【Webページ】著者.␣タイトル␣[Internet].␣URL␣[cited␣YYYY-MM-DD]

文部科学省. 教員免許制度の概要(平成26年2月19日版）[Internet]. http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoin/__icsFiles/afieldfile/2014/02/20/1339300_1.pdf [参照 2018-06-30]

薬学実務実習に関するガイドライン. 文部科学省 薬学実務実習に関する連絡会議; 2015年2月 [Internet]. http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/058/gaiyou/1355408.htm [参照 2016-01-01]

3．投稿手続き

1）責任著者（Corresponding author）は投稿申請を所定の期限までに行う。以後､投稿にかかわる手続きを責任をもって行う。

2）原稿と投稿別紙, チェックリスト, 投稿承諾書（様式１）を電子メールに添付し, 下記メールアドレスへ送信する。ファイルサイズが大きいなど, 電子メールによる送付が難しい場合は紀要委員会へ照会のこと。

3）原稿のファイル名は「筆頭著者名.原稿」とする。

4）原著, 研究報告, 総説へ投稿する場合は, 抄録, 本文, 謝辞, 注, 引用文献などに著者を特定できる記述が含まれていないことを確認すること。必要に応じて, 紀要委員会から原稿の再提出を求めることがある。

5）投稿別紙のファイル名は「筆頭著者名.別紙」とする。

6）投稿時提出物のファイル形式

①原稿　　PDF

※査読が必要な原稿は文書プロパティや原稿記載内容で著者情報を明らかにしないこと

②投稿別紙　　PDF

③投稿承諾書（様式１）　PDF

7）原稿受理の連絡後, 速やかに入稿用原稿を提出する。入稿用原稿のファイル形式は, Microsoft社のWord, Excel, PowerPointとする。

8）原稿提出先・問合せ先

紀要委員会E-mail：kiyoukiyou@slcn.ac.jp　または　kiyoukiyou@luke.ac.jp

4．原稿の受付および採否

1）受付日は, 紀要委員会が原稿を電子メールで受信した日とする。

2）紀要委員会は執筆者に論文種類の変更, 加筆修正を求めることができる。

3）投稿要項に沿っていない原稿は受理しない。なお, 投稿原稿の採否および掲載順序は紀要委員会で決定する。

5．その他

1）著者校正は原則として初校のみとする。初校を含め校正時の大幅な追加, 修正は原則として認めない。

2）全著者が投稿原稿に目を通し, 承認したうえで投稿すること。投稿においては「投稿承諾書（様式１）」に著者全員が署名をして提出し, 最終稿の提出時には「最終稿提出承諾書（様式２）」に筆頭著者が署名をして提出すること。

3）学術的観点において倫理等の問題を生じる余地のない原稿を提出すること。

【重要事項】

※編集委員会から示された期限は厳守すること。

※著者都合による提出物の差し替えが生じないよう, 提出前に十分確認すること。

※提出物

査読あり原稿	査読なし原稿
査読用原稿（PDF）※著者を特定できる記述を墨消しとする	原稿（PDF）
原稿（PDF）	投稿別紙（PDF）
投稿別紙（PDF）	投稿承諾書（様式１）
投稿承諾書（様式１）	投稿チェックリスト
投稿チェックリスト	

※提出先

紀要委員会E-mail：kiyoukiyou@slcn.ac.jp　または　kiyoukiyou@luke.ac.jp

【別表】

著者となれる人		本法人で規定された名称		当該規程
①	本法人の教職員	無期雇用	教育職員・医療職員・事務職員	4 学校法人聖路加国際大学就業規則
		有期雇用	教育職員・医療職員・事務職員 （嘱託・非常勤・研修医・専攻医・アルバイト）	4-01 学校法人聖路加国際大学有期雇用教職員就業規則
		（内） 教育職員	教授・准教授・講師・助教・助手・特命教授・特任教授・客員教員・臨床教員	4-33 聖路加国際大学教員任用規程
	本法人の研究員	（第1号）専任・卓越・兼任　（第2号）特任 （第3号）客員・特別		4-36 学校法人聖路加国際大学研究員規程
②	本学大学院の学生，修了生，研究生	学生，研究生		8 聖路加国際大学大学院学則

2015年6月2日改正
2016年7月5日改正
2017年6月6日改正
2018年7月20日改正
2019年7月23日改正
2021年7月20日改正
2022年7月19日改正